



連合福島&県労福協 2022 新春交歓会



包摂と寛容を基軸に持続可能な社会へ ～「必ずそばにいる存在」としての運動を推進～

2年ぶりの開催となった、県労福協との共催による2022年新春交歓会は、1月5日（水）ホテル福島グリーンパレスで約180名の出席のもと開催した。フリーアナウンサーの大和田新氏の軽妙な語り口調と進行で会は進められた。



主催者挨拶・今野 泰 連合福島会長

第1部の式典では、小野利市県労福協副会長の開会挨拶に続き登壇した今野泰県労福協・連合福島会長が、主催者を代表して『世界的に猛威をふるうコロナ感染症の制約や制限、自粛が縮小と分断・排除をもたらし、課題とされた格差や貧困が、一層深刻化している。今年連合福島は包摂と寛容を基軸に持続可能な社会に向け、「必ずそばにいる存在」としての運動をさらに進めていく。今年こそマスクを外し素顔の生活が戻るよう祈念する』と挨拶した。

また、来賓を代表して、内堀雅雄福島県知事、金子恵美・立憲民主党県連代表、亀岡義尚・県民連合副会長、須佐邦夫・国民民主党県連事務局長、丹治千代子・社会民主党県連副代表、木幡浩福島市長、品川万里郡山市長、菅野孝志・県農業協同組合中央会会長から、祝辞を頂戴した。最後に吉川毅一県労福協副会長の挨拶をもって式典は閉会となった。

第2部のマジックショーでは、TAKUMI（空先拓海）氏のユニークなトークを交えたイリュージョンに会場は驚きと興奮に沸いた。TAKUMI氏は「これからもマジックを通じて福島の皆さんを笑顔にしていきたい」と述べた。

第3部はお楽しみ福引抽選会を開催。国産和牛セットや折り畳み自転車、さらには高压洗浄機等、新年早々幸運に恵まれた方々から喜びの歓声が上がった。

飲食は無かったものの、メリハリがあり一体感を感じる交歓会となった。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



ご挨拶を頂いた来賓の皆様



会場の皆さん



マジシャンのTAKUMI氏